

特別養護老人ホーム風の路からの お知らせとお願いです

地域に新しい風を!

皆様方のご厚意と善意に感謝致します。

平成23年度

7/25 第1回運営推進会議開催。

施設が地域の方から見て、正しく機能しているかを審議する場です。入居者代表・ご家族代表・小中学校代表・石越総合支所等の代表・地区の代表・民生委員で構成され2ヶ月に1度の開催です。

各委員会が活動中

苦情対応委員会・身体抑制ゼロ委員会・感染症予防委員会・褥瘡委員会・広報委員会
事故防止委員会・給食委員会・職員研修委員会等 定期的に開催し安心と安全に努めています。

入居検討委員会

3か月に1度、第三者委員の参加のもと優先順位を審議。待機者は85名。(8/26現在)

ボランティアにご協力を!

*ユニットで入居者との**お話し相手**はいかがでしょうか。馴染みの関係が生まれます。

*「歌うボランティア」募集中!
童謡・演歌・民謡 何でも皆さんで楽しんで歌いましょう。

*「おいとこ」歌・おどりを教えてはいただけませんか。
入居者の皆さんは**おいとこ**が大好きです。

*楽器演奏・絵手紙ボランティア・書道 他 何でもOK
先ずはお出で下さい。

行事あれこれ

- ① 保育所園児とのふれあい
8月23日(火) 4歳・5歳児22名来所。
 - ② 地域と一緒に「避難訓練」
8月29日(月) 第2・長根区長さんのご協力。
 - ③ 長寿を祝う会
9月15日(木) 長生きを皆でお祝い。
 - ④ 豊作祈願! 「みんなで秋祭り」
10月8日(土) 午後5時半~
 - ⑤ 裏千家の「お手前」拝見。
10月中旬
 - ⑥ 「風の路ショップ」オープン!!
9月6日(火) パブリックスペース
 - ⑦ リンパマッサージ ボラ登場!
9月9日(金)
- 「石越理容組合の方々と『風の路床屋』オープン!!」
希望の月曜日 10時~11時半
割安で安心・感謝です。

お知らせ

- 風の路の「パブリックスペース」のご利用を! 教室・習い事・見学・団らんの場としてお使い下さい。お電話お待ちしております。
- 「ご意見箱」設置しました。ご意見をどうぞ
- ショートステイは10名まで入所できます。1日~30日間利用可能。送迎あります。ご相談下さい。
電話 0228-34-4165 (よいろこ)
FAX 0228-34-4166

編集後記

震災から6か月を経た今、地域の方々に支えられ29名が入居しました。
風の路は、第2行政区に所属し区長さんはじめ多くの方々のご協力を頂いています。今後はより一層の触れ合いの機会をつくって参ります。宜しくお願ひします。

風の路 広報委員会一同

風の路だより

2011年9月——創刊号

基本理念

これまでの生き方を尊重し、地域との絆を大切にして笑顔で居心地の良い暮らしをつくりまします。



8月末、石越保育所の子ども達22名が交流にきました。緊張していた子ども達も歌やおどりを続けるうちに笑顔がふえてきて、最後は入居者と手を取りあってニコニコ顔。風の路に、子ども達の元気な声が響き渡り幸せな風が吹き渡ったひと時でした。又、おいでね。



— いごこちの良い暮らしを大切に —

社会福祉法人登米市社会福祉協議会
特別養護老人ホーム風の路 施設長 佐藤 妙子

未曾有の震災から6ヶ月が経過し、皆様には復旧に向けて日々取組まれておられる事とご推察申し上げます。震災時におきましては、地域の皆様にはボランティア活動を通して日夜ご協力いただき大変ありがとうございました。改めまして御礼申し上げます。

そのような中で、ここ「特別養護老人ホーム風の路」が2ヶ月遅れの、6月8日に開所式を迎え、7月末には29名の方々が満居となりました。

風の路は、これまでの特別養護老人ホームとは趣を異にしており、地域密着型の少人数「ユニットケア」が特徴となります。基本理念は、「これまでの生き方を尊重し、地域との絆を大切に、笑顔で居心地の良い暮らしをつくりたい」といたしました。

3つの中庭で明るさを増し、ユニット毎にリビング・食卓・お風呂が設置され、入居者の方々が家で暮らすがそのまま実感できるような設えとケアを大切にしております。

又、地域の方々が自由に集い入居者との交流の場、団らんの場としての「パブリックスペース」も開設しておりますので、多くの方々のおいでとご活用をお待ちしております。

特に大切にしています事は、高齢者の大きな楽しみの一つでもある食事です。風の路では「口から摂る栄養」を主体に「地産地消」を推進し、そのための支援として専門家による「口腔ケア」・「リハビリ」面で入念な指導により改善がはかられ、ご本人はもとより、ご家族の喜びもひとしおです。今後更に、入居者の自己実現を最終目標に、日々の生活が豊かになることを願っております。

これからも地域の皆様と風の路をつなげる、風の路だよりをお届けします。お気軽にお出でいただけるような施設になれるよう職員一同努力して参ります。ご覧頂きましてのご感想、ご意見をいただければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。

ユニット紹介コーナー

① あじさいユニット (6名) 個室

ユニット目標は、「入居者のもう一つの家をつくりたい」「されて嬉しい事をしよう」の2つです。

女性のみ6名で最高齢が92歳。職員6名が日夜、笑いと感動の日々です。男性リーダーの優しさはチームプレーを容易にしています。

92歳のTさんは、息子さんにパーマ、おしゃれ染をして頂きます。リハビリもしながら長生きを目指しています。



② りんどうユニット (9名) 個室

「居てくれるだけでいい」を目標に男性4名、女性5名の美男美女ユニットです。経管栄養が外せたYさんは「おいしい！」と満面の笑み。92歳のTさんは食器洗い・洗濯たたみ等働き者で団らんも大好きです。

最初の頃は、なじみの関係が築けずに入居者さま同士の会話も見られませんでした。最近では少しずつ会話も見られ、相手のことを気遣う様子も見られました。りんどうユニットは花の好きなケアワーカーのN



子さんが、自宅庭のお花を飾ってくださいます。中庭には、ナスとミニトマトが少しだけ実をつけています。

私の声・あなたのこえ・まちの声

入居者からの一言

7月にここに入る時は不安でしたが、今は元気がでています。リハビリの先生は解りやすく、好奇心を持って毎日練習しています。看護師・ケアワーカー・ケアマネジャー等色々の方に声をかけていただきやる気が出てきます。8月23日には石越保育所の子供たちが大勢来て、手遊び、鈴を持ち演奏したので元気と勇気ができました。これからしたい事は、私が歌い、職員が踊る「おいとこ」を楽しみにしています。

南方 熊谷正勝さん

ご家族からの一言

父が入居して4か月になりますが、父の穏やかな顔を見て家族は心から安堵しています。

施設のしつらえが明るさを基調に、自宅と同じ感覚が味わえる中庭があり、何度訪れても職員の方々の明るさ、笑顔での声掛けに緊張感がほぐれ、心地良さを感じております。

入居当日は、家具の組み立てに戸惑う私に「お手伝いします」とのさりげない声掛けに緊張感がほぐれほっとしたことを思い出します。言葉でない表現を聞き分け、接して下さる細やかさには本当に感心させられます。

風の路に入居して本当に安心してあります。

清野 恵さん (小岩勲さんの娘)

③ さざんかユニット (14名) 多床室

「生きる力を支えます」を目標に、ひとり一人の願いを叶えます。

64歳～92歳までの男性7名・女性7名の14名の大所帯。お話し好きな方、リハビリに励むMさん・散歩が好きなHさん・胃ろうを外し、食べる楽しみを満喫のMさん等朗らかな「さざんか」です。

70歳のMさんは、毎朝、河北新報に目を通してお話も大好きです。特に演歌は大好きで、自室のデッキで楽しんでいまず交流会・会議等の際は代表で挨拶をして下さるので頼りになります。



て下さるので頼りになります。

④ さくらユニット 10床 (短期入所)

1日でも入所できます。送迎はご自宅まで土曜でも、市内外からのご利用が可能です。ご家族のご都合に応じて、ケアマネジャーと相談いつでもお電話下さい。施設から一望できるさくらの木々たちは、春には見事な花を咲かせ、心を和ませてくれるでしょう。そんな素敵な花のように、「さくら」でも、自宅での生活と同様皆様のペースで、のんびり、楽しく、過ごしていただき、地域の皆様から愛されるショートステイ「さくら」を目指しております。「また利用したくなる「さくら」を合言葉にスタッフ一同、笑顔で寄り添って参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。



利用者様とスタッフが一丸となり、完成させた、ちらし寿司パーティーのひとつです。みんなていただき食欲もアップ!!会話も弾みます。

地元からの声

当地も高齢化・核家族化が進み、ここに地域密着型特別養護老人ホーム「風の路」ができた事は、少なからず地域の皆さんに安心感を与えたのではないかと思います。静かで美しい田園風景が一望できる「風の路」で家庭的な支援を受けながら日々の生活を過ごされている方々には安住の場となって欲しいと願っています。又、近隣に居住する私たちも折に触れ「風の路」の皆さんと一緒に日々の暮らしを楽しめたらよいと思っています。

長根区 (民生委員児童委員) 二階堂行子さん



中庭が家庭的さを強調